

世界の異常天候とその影響評価 (24)

(Climate Impact Assessment, February, 1986)

1. 合衆国西部・カナダ—豪雨・豪雪

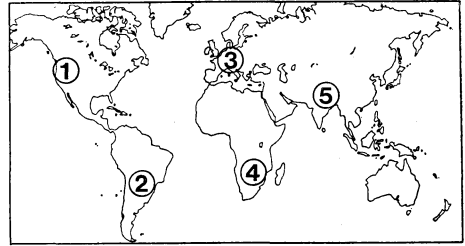
合衆国西部の五つの州とカナダのブリティッシュコロンビアでは、2月12～19日の豪雨・豪雪のため18人が死亡し、数億ドルの資産の被害が生じた。カリフォルニア北部では、大規模な河川の氾濫のため、少なくとも21,000人の人々が家を棄てて避難した。泥流と雪崩のため、道路が遮断され死者もでた。カリフォルニアのサクラメントでは雨量が250mmを越え、ブルーキャニオンでは650mmを越えた。シエラネバダ州の高山地帯では降雪が3mを越えたところもあった。これらの多雨は、2月中旬に太平洋から一連の低気圧が接近したことによるものである。

2. 南アメリカ—干ばつ

ブラジル南部では雨が降って干ばつが緩和されているが、パラグアイでは干ばつが続いており、主要作物の減収が予想されている。パラグアイの最南部では5カ月連続して降水量が平年を下回った。2月の最後の週には大雨が降って干ばつは解消したが、干ばつによる被害は回復不能である。

3. ヨーロッパ—低温

ヨーロッパでは、12月や1月とは対照的に、この百年間で最も寒い2月の1つとなった。このため、暖房用の石油の消費量が1,430万バレル増加したとみられている。平均気温は平年より6°Cも低かった。



4. アフリカ南部—干ばつの影響

今年のアフリカ南部の全体的な食糧生産は平年並になりそうであるが、地域によっては干ばつの影響で穀物生産が減少することもありうる。ボツワナでは5年間連続して干ばつの影響を受けることになった。アンゴラ、南アフリカ、レソト、マダガスカル、モザンビークでも、干天のため潜在的に農業生産が減少している。

5. 南アジア—順調

パキスタン北部、インド北部及び中部、ネパール西部では平年以上の雨が降っているため、冬小麦の生育にとって好適な状況となっている。これら諸国の主要農業地域では平年以上の生産高となりそうな見込みである。もっとも、インドのマディヤ・プラデシュ州の小さな農業地域では以前の干天のために被害が生じている。

注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している。

(気候変動対策室 真野裕三)